



# ふじさわ体協

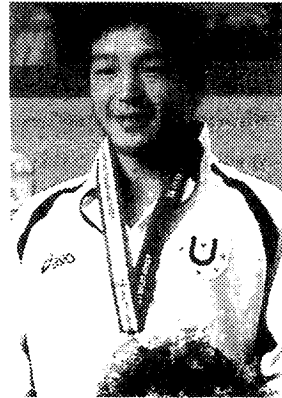
「藤沢市体育協会広報」第55号

発行日 平成15年12月20日  
 発行・編集 藤沢市体育協会  
 〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2  
 秩父宮記念体育館

## アテネを目指して

藤沢市柔道協会会長

河合 正博



金メダルを胸に小川選手

八月に韓国の大邱市で開催されたユニバーシアード大会柔道競技男子六〇KG級で、当市の小川武志選手が見事優勝し金メダルを獲得した。小川選手は藤が岡で整骨院を営むかたわら柔道場を開いている父親のもとで六歳より柔道を始め順調に上達し、藤が岡中学三年時には学校の理解もあり当市からは柔道で初めて全国中学校大会出場、高校では市内の柔道名門校日本大学藤沢高等学校に入学すると父親に育まれた基礎が開花し三年時に全国高校総体六〇KG級で優勝。日本体育大学進学後は四年時に全国インカレ三位、全国体育系大学体重別優勝、そして全英オープン国際に優勝して国際試合に

もデビューしている。同大学卒業後は了徳寺学園に勤務し実業個人選手権、韓国国際、ドイツ国際と国内外の大会での優勝経験を重ね今回のユニバーシアード大会に臨んだ。小川選手は大会前の四月に肘を脱臼しておりそれに対する恐怖感と、直前の合宿で傷めた膝の影響もあって非常に苦しい状態での出場であった。しかしいざ試合になると決勝までの5試合のうち一本勝ち4回と安定した試合内容。得意技である左右の背負い投げを駆使し、常に自分のペースで試合を進めて相手を翻弄し今回の栄冠を勝ち得た。「肘は今まで一番大きなケガだったので、かなりへこみました。でも多くの方々から励ましと力を戴いたおかげでこの舞台に立てました。その方々への恩返しです。」と小川選手。この選手の実力、精神力は今大会での勝利により世界で通用することを実証した。現在小川選手は強化指定選手であり、今後は当然ながらアテネ五輪を第一の目標に据えている。しかしな

がら小川選手のねらう60KGクラスはかつてより日本の最も得意とするクラスであり、アテネを狙う選手も五輪二連覇の野村選手を始めとして、徳野選手、江種選手ら強豪選手がひしめいており、五輪でメダルを取るよりもまず日本の代表選手となる方が難しいとされているクラスである。今後各大会を経て最終選考会に至るまで多くの難関が待ち構えているが、小川選手が柔道を始めた当初より指導してきた前述の父親明氏も「ただ頑張るのみ」と見守っている様に、何とか頑張つてこれらの関門を乗り越えてアテネ五輪への切符を獲得してもらいたい希望の星である。



男子60kg級の表彰式（左から2人目が小川選手）

# 全日本実業団優勝に思う

日本精工バレーボール部主将  
山里 勝利



去る8月1日～4日にかけて、全日本6人制バレーボール実業団優勝大会が埼玉県深谷市にある、深谷ビュッゲトータルにて開催されました。

日本精工バレーボール部は、本来9人制のチームでは全国優勝もしてトップクラスのチームであります。今年、若い選手の加入もあり十数年ぶりに6人制の全国大会に出場することになりました。バレー部のメンバーは、大学時代に優秀選手に選ば

れていたりと、県代表選手や、小学校から全国大会に出場していたりと、かなりの凄腕の選手ぞろいので構成されています。

試合結果は予選リーグからフルセットで、かなり厳しい試合展開ではありましたが、監督、コーチ、選手が一丸となつて戦つた結果、決勝戦の相手、新潟教員に第1セットを取られたものの、第2セット、第3セットと連続して優勝することができました。今回のこの経験を9人制の大会に活かし、次回には9人制全国制覇を目指し頑張りたいと思います。

今大会の優勝は、会社の理解は元より、バレーボール協会や体育協会のご支援ご協力の賜と感謝申し上げます。

また、職場の同僚に少しでも恩返しが出来たと思えます。

## メンバー表

部長	高橋行雄
監督	酒井 敦
コーチ	小山和雄
M	渡部将充
主将	山里勝利
1	齊藤圭介
2	真保勝吉
4	高瀬良明
5	甲斐毅弘
6	田辺昭吾
7	菊地 大
8	和田欣一
9	藤間洋蔵
10	藤田佳典
11	浜田秀文

# 全日本優勝おめでとう

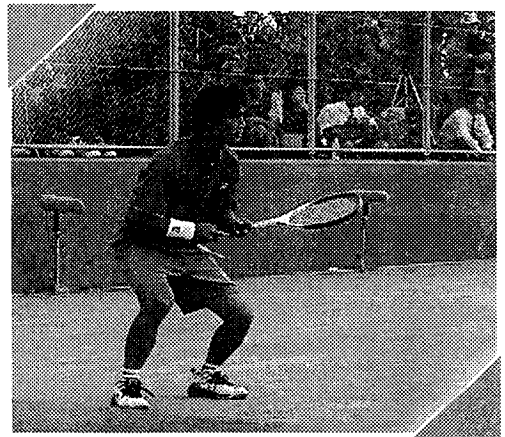
## 目標に向かって

藤沢市役所  
森田 英世

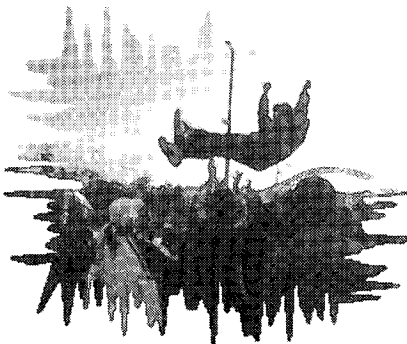
この九月末に、国内最大トーナメント、全日本総合ソフトテニス選手権大会が開催されました。本大会は、天皇賜杯をかけた大会で、ソフトテニス愛好者なら誰もがそのタイトルを夢見るものだと思います。

私は、この大会に十一年連続で出場し、過去に準優勝二回、三位一回とあと一步の所で悔しい思いをしてきました。毎年そのあと一步を埋めようと自分なりに努力してきたつもりでしたが、それがただの自己満足でしかない気がかされた言葉があります。「社会人になつて仕事をしながら練習をするのは大変だと思

うけど、本当に忙しいだけで練習ができないのか？ 飲みに行ったり、遊んだりしながら天皇賜杯は取れないよ。」と言われ、自分が甘えていたことを見透かされたようで心が痛みました。それからその言葉を胸に刻み、トレーニングを続け自分と正直に向き合い今大会に臨みました。一試合



一試合を大切にし、集中することで自分のテニスをやり遂げることができ、長年の目標であった天皇賜杯がこの手に収めることができました。今年で三十歳、もう少し現役を続け、新しい目標に向かって更なる努力をしていきたいと思えます。



# 第54回 神奈川県総合体育大会

今年度は 総合第5位で終了

☆種目別競技成績

種目	成績	得点	種目	成績	得点
バレーボール(男)	優勝	36.0	サッカー	ベスト4	31.5
バレーボール(女)	優勝	36.0	バスケットボール	1回戦	16.5
スキー	9位	29.0	バドミントン	2位	34.5
ソフトボール	3回戦	25.5	クレー射撃	2位	36.0
ソフトテニス	1回戦	15.0	ゴルフ	4位	34.0
ボウリング(男)	13位	25.0	卓球	2位	34.5
ボウリング(女)	8位	30.0	柔道	2回戦	25.5
水泳	8位	30.0	弓道	ベスト4	34.5
軟式野球	1回戦	9.0	計		482.5

☆総合成績

順位	市町村名	得点
1	平塚市	529.5
2	横須賀市	518.5
3	横浜市	511.0
4	相模原市	488.0
5	藤沢市	482.5
6	川崎市	478.5
7	秦野市	473.0
8	厚木市	458.0

## 連続アベック優勝

「戦いを終えて」

女子バレー監督 花井 政浩

県民総体を、毎年優勝と言うチームを引き継いで、私も三年目になります。ですが改めて、藤沢女子チームの強さに感心させられます。

そして、選手達は、今年もあたりまえの様に優勝を勝ち取ってくれました。

このチームは、藤沢地区の家庭婦人のチームの中から選ばれた選手を中心に、市民大会で活躍した若い選手を加えて作られたチームです。

選手は一人一人がしっかりした基本が身につけていてチームもキャプテンを中心によくまとまっています。

そして、私が一番このチームが勝ち続けている理由だと思ふ点は、練習中でも試合中でも、ボールを触っている時間は、決して手を抜かない事、それから、今の現状に満足する事なく、もつと上手になってやろうと思う向上心だと思ふます。この二点が色あせなければ、これからも、強い藤沢バレーがもつともつと続いていくと思ふます。

「県総藤沢はなぜ強いのか！」

男子バレー監督 石川 昇

藤沢クラブは、小学生から社会人まで、様々な年齢層で結成されたチ

ームです。県総藤沢はその中で全国青年大会優勝を目指す1チームです。

県総藤沢の練習は、毎週火曜日の夜7時30分より10時まで、藤沢小学校の体育館を借りて練習しています。練習メニューは、監督である石川さんが、選手が飽きない様に毎回変化を持たせ、藤沢バレー伝統の「拾って勝つ」ための基礎のレシーブ練習を中心に、他全体の3割がレクレーションなどを取り入れたゲーム形式の練習を行っています。

練習ははつきり言つてキツイですが、でも皆、この練習をしたくて集つてきますし、勝つためにはやらなくてはいけないことが解つているから強いのです。

## 第58回 藤沢市総合体育大会

藤沢地区優勝、高谷地区の5連覇阻む!

【総合成績】

優勝	藤沢地区
準優勝	高谷地区
第3位	駒寄地区
第4位	俣野地区
第5位	大越地区
第6位	善行地区

【種目別成績】

バドミントン	湘南台
ソフトボール	大道
軟式野球	富士見台
バレーボール(男子)	大庭
バレーボール(女子)	藤沢
卓球	滝の沢
ソフトテニス	亀井野
陸上	高谷

岩淵 元氏

旭日双光章を受ける



藤沢市テニス協会名誉会長の岩淵氏が、平成15年度秋の叙勲を受けられました。

伝達式は、国立劇場において、11月10日に河村建夫文部科学大臣より伝達され、式典に引き続き、皇居豊明殿において、天皇陛下からお言葉を頂戴し、拝謁を賜ったとのことです。

岩淵氏は、早稲田大学在学中から全日本学生連盟理事長として、日本テニス協会の役職に就かれ、現在も日本テニスの発展のため、ご尽力されるとともに、神奈川県テニス協会の会長、藤沢市テニス協会の名誉会長として、身を粉にしてテニス競技の普及に努めてこられました。

今後、お体に気をつけてますますご活躍いただくよう祈念いたします。

# 久保寺副会長を偲んで



藤沢市体育協会会長

小泉勝彦

あなたの綴った 教え道  
苗の空に 色あせず  
久保ちゃん いつもありがとう

久保寺さんの親友、山上はるお先生の歌詞の一節だが、久保寺氏を思うとき今、新たに心に響きます。

人間に深い愛情をもつ氏の面影は依然私達の脳裏に色濃くあり、その存在の大きさを覚えます。

体育協会の副会長として、スポーツ振興財団の理事長としても、競技力の向上と、市民の健康づくりに限らず多く尽くされた業績は、協会のみならず多くの市民の誇りとして、心に受け継がれていくものと信じます。

氏の願いや、夢や勇氣、そして優しさを、それぞれの胸に、しっかりと宿

し、これからも健康で明るいスポーツライフの実現を目指しこの事業に精励し、氏に報いたい。

藤沢市ゴルフ協会

佐々木 保

久保寺会長が亡くなられたことは、あまりにも大きなショックでした。協会を設立させ、その会長として最後まで務められ、協会員のみならず協会が主催する競技に参加された方々に親しまれました。その人望は多くの人々が認めるどころです。その人柄から多くの公職を務められ地域団体のリーダーとして忙しい毎日を過ごされました。親しい友人達もそろそろ年齢を考えて、自分の時間を多くするようにと云っていた矢先の死でした。これとゴルフに関しては多忙のスケジュールを調整しながらプレーに参加し、スコアアップを目指し、常に腕を磨くことを忘れず努力していたようです。ゴルフをこよなく愛した久保寺さん、今までは忙しく過ごされていましたがこれからにはゆつくりとゴルフを楽しんで下さい。そしてゴルフ協会を影ながら見守って下さい。

## FC湘南辻堂

### 全国大会へ

平成16年1月4日から6日まで駒沢体育館で行われる「バーモントカップ第13回全日本フットサル選手権」に、FC湘南辻堂が県の代表として出場権を獲得しました。

FC湘南辻堂は、市内の小学6年生を中心としたメンバーで、藤沢大会、神奈川県大会を見事勝ち抜き、前回の優勝チームと47都道府県の代表で争われる全国大会へと駒を進めました。去る12月4日藤沢市役所を訪問し、山本市長から激励を受けました。

## 編集後記

冷夏の後の猛暑と異常気象の今年、特筆はユニバーシアードでの柔道小川選手六十キロ級優勝。オリンピック目指して頑張られる様声援を送りたい。

続いては日本精工バレー部の実業団優勝。神奈川県総体、男・女バレーボールチーム連覇。ソフトテニス森田英世氏の天皇杯と輝かしい成果が示された。九月久保寺さんの突然の訃報には皆驚き悲しんだ。偲ぶ様に降る秋雨の中の葬儀が忘れられない。心からご冥福をお祈りして編集後記としたい。  
理事(広瀬・荻野)

# 第19回 スポーツ人の集い

◆日時 平成16年2月7日(土)  
午後6時20分～  
◆会場 藤沢市民会館小ホール

### 第1部 式典

この一年間に活躍した選手・団体等に贈られる「藤沢スポーツ賞」の表彰

### 第2部 講演会

スポーツの動きを科学から探る

講師 川島一明氏



- プロフィール
  - ・神奈川県出身 61歳
  - ・日本大学生物資源科学部 教授
  - ・日本ゴルフ学会常任理事
  - ・藤沢市教育委員
- 著書
  - 「テニスラケット大研究」
  - 「素振り打法」
  - 「ゴルフ学体系」
  - 「スティックスポーツ」
- 活動
  - 新聞・テレビで研究成果を発表